

記　　者　　発　　表　　資　　料

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER
YOKOHAMA



一般社団法人
横浜市助産師会

令和8年1月14日
横浜市こども青少年局こども家庭課
鶴見大学・鶴見大学短期大学部
一般社団法人横浜市助産師会

災害時における母子専用型福祉避難所に関する協定を締結します

横浜市では、令和7年3月に策定した横浜市地震防災戦略に基づき、妊産婦・乳児のための母子専用型福祉避難所の確保を進めています。このたび、本市初となる母子専用型福祉避難所の設置にあたり、鶴見大学・鶴見大学短期大学部及び一般社団法人横浜市助産師会とそれぞれ協定を締結します。

1 母子専用型福祉避難所とは

災害時要援護者である妊産婦・乳児が地域防災拠点に避難したのち、避難生活の継続に支障を抱える場合に、その安心・安全を確保するための居場所としての福祉避難所です。

- (1) 対象者 地域防災拠点での避難生活継続に支障を抱える妊産婦・乳児（母子での避難）
- (2) 特徴 液体ミルクなど妊産婦・乳児に特化した備蓄を用意するほか、助産師による巡回を行い、入所者の心身のケアを行います。

2 概要

(1) 協定概要

災害時に母子専用型福祉避難所を開設・運営する必要があるときに、横浜市が鶴見大学・鶴見大学短期大学部及び市助産師会に協力を要請できること等を定めるもの

(2) 協定締結日

令和8年1月19日（月）

(3) 協定の相手方

- ア 対象施設 学校法人総持学園 鶴見大学・鶴見大学短期大学部
- イ 協力機関 一般社団法人横浜市助産師会

3 協定締結式等

(1) 日時

令和8年1月19日（月） 午前11時開始

(2) 場所

鶴見大学会館3階第二会議室（鶴見区豊岡町3-18）【JR鶴見駅から徒歩1分】

(3) 出席者

鶴見大学・鶴見大学短期大学部	学長	高田 信敬（たかだ のぶたか）
一般社団法人横浜市助産師会	会長	高橋 景子（たかはし けいこ）
横浜市こども青少年局	局長	福嶋 誠也（ふくしま せいや）
横浜市鶴見区（設置区）	区長	渋谷 治雄（しぶや はるお）

(4) 次第

11時00分～11時20分 協定締結式

11時20分～11時30分 関係者が取材に応じます

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 母子専用型福祉避難所内の様子



鶴見大学体育館入口



鶴見大学体育館柔道場内

5 取材

取材を希望される場合は1月16日(金)17時までに下記お問合せ先にご連絡のうえ、当日は直接会場へお越しください。

(当日のご来場は公共交通機関をご利用いただくか、車で来場される場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。)



鶴見大学・鶴見大学短期大学部の概要

法人名 学校法人 総持学園
所在地 鶴見区鶴見2丁目1番3号
建学の精神 大覚円成 報恩行持
～感謝を忘れず 真人となる～



マスコットキャラクター
つるみん つるたん

横浜市助産師会の概要

法人名 一般社団法人 横浜市助産師会
所在地 港北区新横浜1丁目16-2 SEエトワール201
会員数 118名



お問合せ先

こども青少年局こども家庭課長 藤浪 博子 Tel 045-671-2364



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

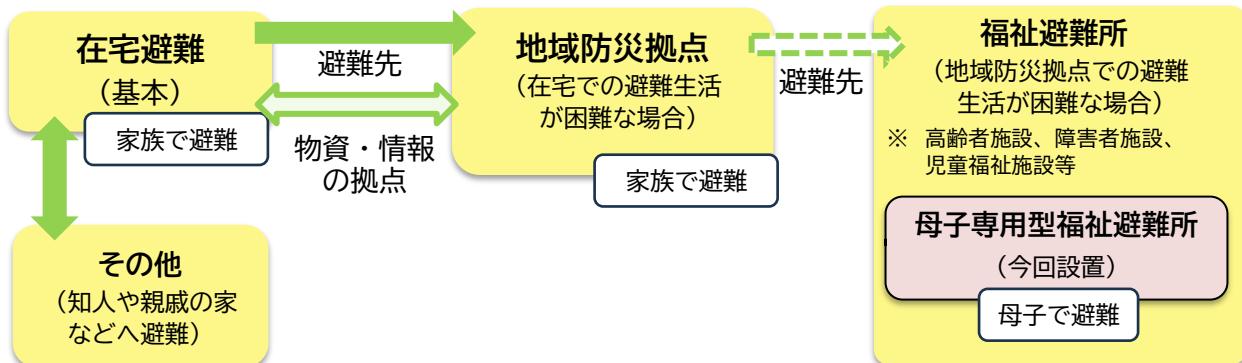
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



○ 母子専用型福祉避難所の設置の経緯

妊産婦や乳児は環境の変化により心身に影響を受けやすく、災害時には様々な配慮が必要であるとの課題認識がありました。令和6年に発生した能登半島地震でも妊産婦の避難所が開設された事例があり、本市としても母子専用型福祉避難所を設置していきます。

○ 本市における地震発生時の妊産婦・乳児の避難環境イメージ



○ 横浜市地震防災戦略上の位置づけ

施策3『配慮が必要な人（災害時要援護者）への支援』の重点取組として妊産婦・乳幼児の避難環境向上に取り組み、令和11年度目標値を9か所、令和15年度目標値を1区1か所程度とっています。

取組目標	母子専用型福祉避難所（仮称）の確保		
	直近の現状値	R11目標値	R15目標値
	検討	9か所	1区1か所程度

(出典：横浜市地震防災戦略)



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

